

# 山岳部部歌 — 山の四季 —

(昭和十四年頃)

朝比奈英三君 作歌

渡辺良一君 作曲

## 一

ふぶきの尾根も 風止みて  
春の日ざしのおとずれに  
沢のなだれも 静まりて  
雪げの沢の 歌樂し  
いざ行こう 我が友よ  
暑寒の尾根に 芦別に  
北の山のさらめの尾根を飛ばそうよ

## 二

沢を登りて いま五日  
ワラジも 足に 親しみぬ  
三日三晩の 籠城も  
過ぎて 楽しい 思い出よ  
いざ行こう 我が友よ  
日高の山に 夏の旅に  
北の山のカールの中に 眠ろうよ

## 三

山は紅葉に 色どられ  
頂高く 空澄みぬ  
新雪輝く 山は  
いずれも 親しき 友だちよ  
いざ行こう 我が友よ  
ニセイカウシュベに トムラウシに  
北の山の沢の たき火に 語ろうよ

## 四

吹雪も 止んだ 朝まだき  
凍った テントを 起き出でて  
はるかに のぞむ やせ 尾根は  
朝焼け 燃ゆる ペテガリだ  
いざ行こう 我が友よ  
氷の 尾根に アンザイレン  
北の山の 聖き 頂 目指そうよ